

第 23 回建設業経理士検定試験 2 級試験問題

< 第 3 問 >

現場技術者に対する従業員給料手当等の人件費（工事間接費）に関する次の<資料>に基づいて、下記の問に解答しなさい。

<資料>

(1) 当会計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の人件費予算額

- | | |
|----------|--------------|
| ①従業員給料手当 | ¥ 45,630,000 |
| ②法定福利費 | ¥ 5,486,000 |
| ③福利厚生費 | ¥ 2,740,000 |

(2) 当会計期間の現場管理延べ予定作業時間 15,300 時間

(3) 当月（平成 30 年 3 月）の工事現場別実際作業時間

No.1701 工事	225 時間
その他の工事	1,050 時間

(4) 当月の人件費実際発生額 総額 ¥ 4,520,000

問 1 当会計期間の人件費予定配賦率を計算しなさい。なお、計算過程において端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

問 2 当月の No.1701 工事への人件費予定配賦額を計算しなさい。

問 3 当月の人件費に関する配賦差異を計算しなさい。なお、配賦差異については、借方差異の場合は「A」、貸方差異の場合は「B」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

※ 次ページより解説があります。

< 第3問の解説 >

問1 当会計期間の人件費予定配賦率を計算しなさい。なお、計算過程において端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

資料1より、

$$\begin{aligned}\text{予算総額} &= 45,630,000 + 5,486,000 + 2,740,000 \\ &= 53,856,000\end{aligned}$$

資料2より、予定作業時間は 15,300 時間

従って、

$$\begin{aligned}\text{当会計期間の人件費予定配賦率} &= \text{予算総額} \div \text{予定作業時間} \\ &= 53,856,000 \div 15,300 \\ &= 1 \text{ 時間あたり} \yen3,520\end{aligned}$$

問2 当月のNo.1701 工事への人件費予定配賦額を計算しなさい。

資料3より、No.1701 工事の作業時間は 225 時間なので、

$$\begin{aligned}\text{No.1701 工事への人件費予定配賦額} &= 225 \text{ 時間} \times \text{@} \yen3,520 \\ &= \yen792,000\end{aligned}$$

問3 当月の人件費に関する配賦差異を計算しなさい。なお、配賦差異については、借方差異の場合は「A」、貸方差異の場合は「B」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

$$\begin{aligned}\text{当月の予定配賦額} &= \text{当月の工事現場作業時間} \times \text{予定配賦率} \\ &= (225 + 1,050) \times 3,520 \\ &= \yen4,488,000\end{aligned}$$

資料4より、当月の人件費実際発生額は、¥4,520,000。

工事間接費		工事間接費	
実際	予定	4,520,000	4,488,000

図より、¥32,000 の借方差異です。